

梅雨の時期に関するお知らせ

名古屋地方気象台は、本日（8月1日）に
「東海地方は梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

東海地方は、湿った空気の影響で雲の広がっている所がありますが、高気圧に覆われて晴れている所が多くなっています。向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、東海地方は8月1日ごろに梅雨明けしたと見られます。
今年の梅雨明けは平年（7月21日ごろ）と比べ11日遅く、昨年（7月24日ごろ）と比べ、8日遅くなりました。

（参考事項）

平年の梅雨明け：7月21日ごろ（東海地方）

昨年の梅雨明け：7月24日ごろ（東海地方）

梅雨期間の降水量（6月10日から7月31日まで）（速報値）

	降水量（ミリ）	平年値（ミリ）
高山	1149.5	375.9
岐阜	906.5	460.3

（平年値は、1981～2010年の観測値に基づくもの）

（注意事項）

- ・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日が変更となる場合があります。